

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称	社会教育関係団体体育成事業費 [社会教育関係団体事務事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育事務費	事業番号	5
事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習係 係					課長名	高田 匡章				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 2		
【施策名】 生涯学習の充実								総合計画書(ページ)	35		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民					人、団体 →					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
市民が、自らの生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成する					スポーツ・レクリエーションの推進の施策に対する市民の満足度 →						
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
①野外活動用品の貸し出し事務 ②指導者賠償責任保険の事務					①貸出回数 ②加入団体数 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	%	18.2	17.5	20.6					
	目標	②の目標値	%							21.6	
目標値設定の考え方 市民意識調査において、平成33年(令和3年)の「スポーツ・レクリエーション活動の推進に対する市民の満足度」の目標値を21.6%としている。(第四次基本計画)											
活動指標		③の数値	①回 ②団体	①43 ②31	①43 ②29	①32 ②30					
3 経費	事業費(実績)		円	345,440	372,366	388,981	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	345,440	372,366	388,981					
	特定財源		円								
	(うち受益者負担)		円								
	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1	0.1					
	所要人数(再任用)		人								
職員人件費(再任用以外)		円	825,300	824,400	831,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	1,170,740	1,196,766	1,219,981						
4 環境変化等	(1) 開始年度 H26 年度(野外活動用品)										
	(2) 環境の変化 ①野外活動用品に老朽化が見られ、一部の用品は使用不可になっている。 ②指導者賠償責任保険の利用実績はないが、引き続き、同程度の補償内容での保険加入は必要と思われる。										

事業名称	社会教育関係団体体育成事業費 [社会教育関係団体事務事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	①野外活動用品の一部について、老朽化したり、使い勝手が悪かったりするため、新しいものに替えてほしいとの要望がある。 ②特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	①野外活動用品については、予算に限りがあるため、頻繁に買い替えることは不可能である。一方で、市民から使用しなくなった野外活動用品の寄付を募ることは可能であると考え。 ②特になし			
	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) ①予算や野外活動用品の現状を確認しながら、更新(購入)計画を立てる。 ②万が一に備えて、現在の保証枠を維持する。			
8 施策貢献状況	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ①平成31年度は、新たにかまど、せいろを購入した。また、汚れた臼や杵を選別し、使用できるものについては、表面を削る等、状態を向上させた。 ②特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ①引き続き、野外活動用品の状態を確認し、適正に管理・更新を図っていくが、特定の用品(餅つき用具等)以外は、市民の利用回数の減少が見られる。そこで、数年間利用実績のない用品については、貸し出しを中止する等、維持管理に係る業務の縮小を検討したい。 ②特になし			
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名：生涯学習の充実 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ①野外活動用品の適正な管理を行いながら、利用実績のない用品の貸し出しを縮小又は廃止する。 ②指導者賠償責任保険加入の周知を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	①市民ニーズの有無を確認するため、数年程度、利用実績を検証する必要がある。 ②特になし			